

巻頭随筆 丘の上

日本茶は心の句読点

塩川正十郎さんに「無私の精神」を学ぶ

私観 サンデーエゴ三田会

相場所は有益無害なり

冠城 勲

橋本五郎

宮井克己

宮原幸一郎

特集・いま問われる「学問の独立」

〈座談会〉

大学を取りまく社会と学問

糸川麻里生／浦井昌俊／

中室牧子／駒村圭吾

大学史のなかの学問の自由と独立

松浦良充

「ノ・パサラン」の風景

〈関連記事〉
——スペイン内戦、サラエヴォ、そして日本

山道佳子

SFCの学問の独立に思うこと

斎藤信男

時の話題

大学授業
の英語化

大学の授業を英語化すべきか

大学授業の英語化への危惧

——視野狭窄の「グローバル化」が日本の土台を破壊する

大学授業の英語化@SFC

横田 孝

施 光恒

河添 健

KEIO MONO
MUSEUM 77

古代エジプトの『死者の書』(ミイラ棺断片)

解説

山花京子

現代に生きる福澤諭吉のことば その107

大久保忠宗

三人閑談

音楽家になるなら慶應へ行こう

富田 勲／吉松 隆／藤岡幸夫

54

52

49

46

44

42

37

31

25

10

8

7

5

4

Researcher's Eye

「戦後七十年」の法制史研究
日本の健康長寿を支える
トランジスタを燃やした！

出口雄一 41
丸山達也 48
喜多 誠 67

塾員クロスロード

「割り切れないもの」を描く
3×3の夢を湘南で

永井紗耶子 51
石田剛規 71

執筆ノート

『日本のなもの』とは何か——ジャポニスムからクール・ジャパンへ』
『ロンドン日本人村を作った男——謎の興行師タナカー・ブヒクロサン1839-194』
『近代測量史への旅——ゲート時代の自然景観図から明治日本の三角測量まで』

柴崎信三 68
小山 騰 69
石原あえか 70

社中文録

忠臣蔵

小坂和明／藤間紀子／新家義行／コッラード・モルテーニ

72

慶應義塾図書館旧館改修工事に伴う閉鎖について（お知らせ）

84

第四十回小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト結果発表

85

追想

故・中川真弥先生の思い出
信念の人 小林陽太郎君を悼む

富田 勝 86
椎名武雄 87

時は過ぎゆく

幻の名将——竹内秀夫君を悼む
国際化する「SHODO」——書道会九十五周年を迎えて

高多倫正 88
宮本和幸 89

KEIO Report

GICの挑戦
慶應義塾読書会六十周年

鈴木直樹 91
福岡正夫 92

『三田評論』年間総目次（平成二十七年一月～十二月）

105

ヒサクニヒコのマンガ何でも劇場 79 寸插（深谷昌弘） 65 山上広場 74 塾長室日誌（平成二十七年十月） 76 塾内ニュース 80
三田会だより 94 表紙絵から 118 寄付・維持会申込者芳名

扉絵▼阿部愼蔵 本文カット▼阿部愼蔵・ヒサクニヒコ 口絵写真▼石戸晋、井上悟、竹松明季ほか 本文写真▼渋川豊子ほか 表紙デザイン▼巖谷純介
表紙絵▼清川泰次「TAIJIKIYOKAWA ART STUDIO アメリカ時代」（所蔵 世田谷美術館）